

2020年 1月31日

京成電鉄株式会社

「京成ウェブミュージアム」特別イベント 旧博物館動物園駅にて 「京成リアルミュージアム」開催！

開催日：2020年2月8日(土)～24日(月・休)の土・日・祝日

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、現在ホームページ上で公開している「京成ウェブミュージアム(参考1)」特別イベント『京成リアルミュージアム』を旧博物館動物園駅(参考2)にて開催します。

当イベントは、「京成電鉄の遺構と共に歴史を振り返る」ことをコンセプトとしており、2018年4月に鉄道施設として初の「東京都指定歴史的建造物」に選定された当施設において、京成電鉄の今までの歩みを感じていただけるものです。

地上階を現代に見立て、スカイライナー1/2カットモデルを展示し、地下階へ繋がる階段の壁面に年代を遡るように京成電鉄の歴史をつづった記念パネルを掲出します。メインとなるコンコース階では、過去に制作した記念券や、当時活躍した車両に取り付けられたヘッドマークの一部などを展示します。

また、今後も皆さまとの絆を深めていきたいとの願いから、各日先着200名様にオリジナルパッケージの「百日草の種(花言葉:「絆」「幸福」)」をプレゼントします。

京成電鉄では、今後も沿線の魅力向上・活性化に努めると共に、地域との交流を深めてまいります。

当イベントの概要は次項の通りです。



旧博物館動物園駅 外観



イベントサイン

『京成リアルミュージアム』 イベント概要

1. 開催場所

京成電鉄 旧博物館動物園駅

【所在地】東京都台東区上野公園13-23

2. 開催日

2020年2月8日(土)、9日(日)、11日(火・祝)、15日(土)、16日(日)、
22日(土)、23日(日・祝)、24日(月・休) 全8日間

※期間内であっても開催日以外はご入場いただけませんのでご注意ください。

3. 開催時間

各日 10時00分～15時30分(最終入場:15時00分)

※ご入場可能な人数に限りがありますので、先着順に時間指定の入場券を配布させていただきます。

※入場券の配布が所定の枚数に達した場合、入場券をお持ちでない方はご入場いただけません。

4. 入 場 料

無 料

※会場までの交通費はお客様のご負担となります。

5. 内 容

(1)旧駅舎の一部公開

イベント会場として、旧博物館動物園駅の地上駅舎内部およびコンコース階を公開します。

※ホーム階への入場はできません。

(2)スカイライナー1/2カットモデルの展示

東京都立城東職業能力開発センターが制作した、縮小サイズのスカイライナーの模型を展示します。

※運転台でのご撮影はできません。



スカイライナー1/2カットモデル

5.その他

- ・専用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用いただくか、付近の一般の駐車場をご利用下さい。
- ・当施設は、通常公開していない施設のため、多少の汚れのある箇所もございます。見学中に発生した、衣服・御履き物などの汚れ・破損につきましては、当社では一切の責任を負いかねます。

以上

【参考1】「京成ウェブミュージアム」について

当社が2019年6月28日に創立110周年を迎えたことを記念し、より一層当社への関心・理解を深めていただくため、過去から現在に至るまでに歩んできた歴史や魅力をウェブ上で分かりやすく紹介するものです。



トップページ(季節によってデザインが変わります)

●コンテンツ



ヒミツの部屋は
コチラ！

フロアマップ



路線延伸の歴史



車両図鑑(現役車両)



記念乗車券コレクション



車両図鑑(引退車両)

この他にも楽しいコンテンツが盛りだくさん！期間限定「特別展 ヒミツの部屋」を公開予定。詳しくは京成電鉄ホームページをご覧ください。

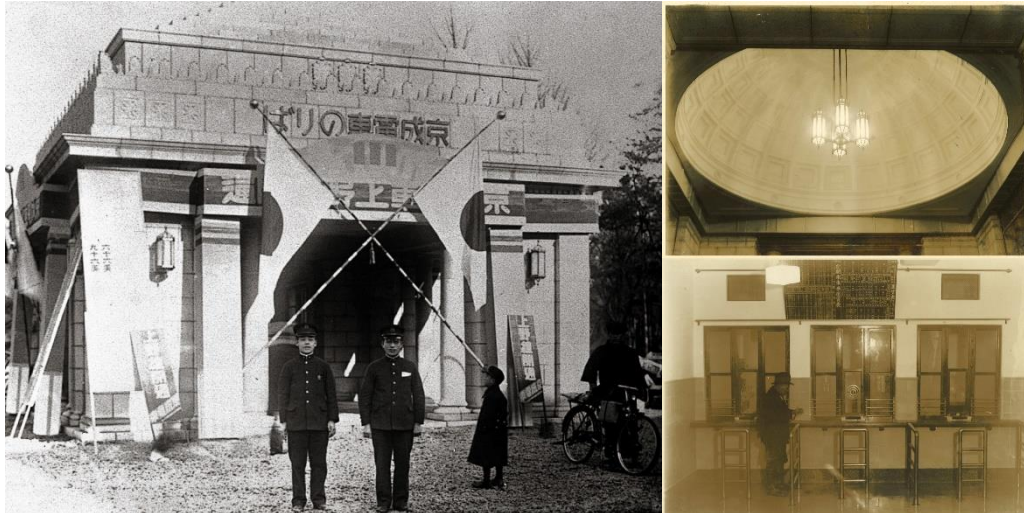
●ホームページURL

https://www.keisei.co.jp/keisei/keisei_museum/

【参考2】旧博物館動物園駅について

1933年12月開業。当時、駅舎の建設予定地が世伝御料地であったため、御前会議での昭和天皇の勅裁を受けての建設となりました。こうした事情が考慮されてか、駅舎内外の意匠は西洋風の荘厳なつくりとなっています。

開業以後、帝室博物館(現・東京国立博物館)や恩賜上野動物園の最寄駅として利用されてきましたが、利用者の減少等により、1997年に営業休止、2004年に廃止となりました。



開業時の「博物館動物園駅」

2018年4月に、鉄道施設として初の「東京都選定歴史的建造物」に選定されました。リニューアル工事を経て、同年11月には記念式典を実施、その後翌年2月までアートイベントの会場として一般公開を行いました。

以降も、アートイベントや展示会等の会場として利用され、上野「文化の杜」新構想において、上野エリアにおける新たな文化拠点としての役割を担っています。



左：セレモニーの様子 右：改修後の駅舎内・扉